

電気の基本料金 払いすぎていませんか？



-  年間削減金額 **15～25万円** (基本料金)
-  コスト削減率 平均 **40%**
-  累計出荷台数 **51,648台** (2007年以降)
-  幅広いラインナップ **全65機種**

 電子ブレーカーで電気基本料金を大幅削減！

JEL CONTROL SYSTEM

JEL SYSTEM CO.,LTD.

2014.5

ジェルコントロールシステムは、 電子ブレーカー 電気基本料金の大幅な削減を可能にします

当社開発の 電子ブレーカーを設置し、最大電流を監視。

CPU搭載により通常のブレーカーでは不可能だった

最適な定格電流の設定を可能にし、低圧電力の契約を **負荷設備契約** から、

より契約容量の小さな **主開閉器契約** に変更して、

大幅な電気基本料金の削減を実現するシステムです。



※製品本体：H276×W112×D95mm
※BOX CASE：H500×W300×D120mm

電気料金をムダにかけていませんか？お手元の電気ご使用量のお知らせをご確認ください。

- ☐ 契約容量が比較的大きい。(およそ20kW以上)
- ☐ 電気料金にしめる基本料金の割合が大きい。
- ☐ 機械はたくさんあるけれども数分しか稼動しないものがある。
- ☐ 契約容量がいっぱいで変電設備(キュービクル)の設置を検討中。

check!

『負荷設備契約』から『主開閉器契約』に変更し、ジェルコントロールシステムでより小さな契約容量にできます。

●基本料金の決定方法

$$\text{基本料金} = \text{契約容量 (kW)} \times \text{基本料金単価}^* (\text{円}) \times \text{力率割引}$$

現在ほとんどの事業所で
されている契約

負荷設備契約

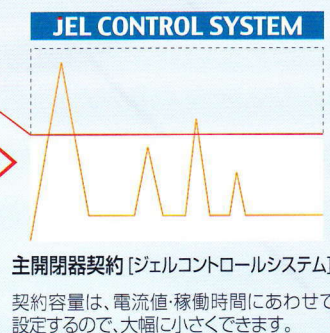
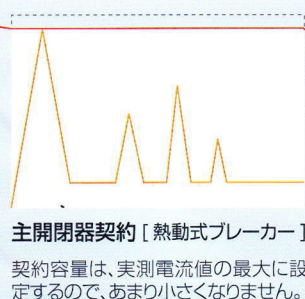
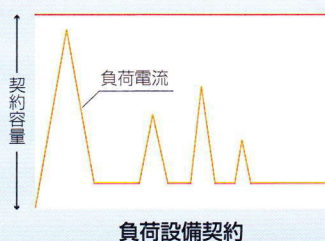
機械の稼動状況、使用電力、ブレーカーの容量にかかわらず、モーター等の設備容量の総合計(kW)で契約容量を決定します。

主開閉器契約(ブレーカー契約)

設備容量にかかわらず、実際に機械の稼動時にブレーカーに流れる電流値をもとに、ブレーカーの容量で契約容量を決定します。

※電力会社基本料金:東京電力 1,020円(税別)

●契約容量の比較



コスト削減率
平均 **40%**

当製品は、動力タイプが1kW単位:41機種、電灯タイプが1kVA単位:24機種のラインナップなので、より適正な契約容量設定が可能です。

ブレーカーを採用し、 コストを削減します。



このように同じ設備内容、使用状況にあっても契約容量を小さくでき、電気の基本料金が安くなります。

1 基本料金 39,681円 39kW

従来の負荷設備契約の検針票

電気ご使用量のお知らせ		電気料金等領収証(口振振替利用)	
株式会社増田金属工業所様 使用場所 葛飾区東新小岩7丁目6-7		20年3月分 ご使用期間 2月28日～3月31日 領収金額 78,207円	
20年4月分 ご使用期間 3月31日～4月30日	ご契約種別 低圧電力	20年5月分 ご使用期間 4月30日～5月31日	ご契約種別 低圧電力
ご使用量 2,810kWh	契約容量 39kW	ご使用量 2,287kWh	契約容量 26kW
請求予定金額 4,476円	当月指示数 9474.33	請求予定金額 53,138円	当月指示数 9558.80
(うち消費税等相当額) 845.1円	前月指示数 9427.49	(うち消費税等相当額) 2,530円	前月指示数 9520.88
基本料金 39,680.55円	計器乗率(倍) 46.84	基本料金 26,453.70円	計器乗率(倍) 38.12
電力量料金 0.00円	取替前計量値 484	電力量料金 0.00円	取替前計量値 484
記・他料金 29,655.40円	力率 90%	記・他料金 23,647.58円	力率 90%
金・燃料費調整額 3,793.50円		金・燃料費調整額 3,087.45円	
内・口座振替額 -52.50円		内・口座振替額 -52.50円	

2 電気使用料金 32,796円

電気料金の合計金額 1 基本料金 + 2 電気使用料金 = 72,476円 (消費税3,451円含む)

1 基本料金 26,454円 26kWに変更

導入後の主開閉器契約の検針票

電気ご使用量のお知らせ		電気料金等領収証(口振振替利用)	
株式会社増田金属工業所様 使用場所 葛飾区東新小岩7丁目6-7		20年5月分 ご使用期間 4月30日～5月31日 領収金額 64,357円	
20年6月分 ご使用期間 5月31日～6月30日	ご契約種別 低圧電力	20年6月分 ご使用期間 6月30日～7月31日	ご契約種別 低圧電力
ご使用量 2,287kWh	契約容量 26kW	ご使用量 2,287kWh	契約容量 26kW
請求予定金額 53,138円	当月指示数 9558.80	請求予定金額 53,138円	当月指示数 9558.80
(うち消費税等相当額) 2,530円	前月指示数 9520.88	(うち消費税等相当額) 2,530円	前月指示数 9520.88
基本料金 26,453.70円	計器乗率(倍) 38.12	基本料金 26,453.70円	計器乗率(倍) 38.12
電力量料金 0.00円	取替前計量値 484	電力量料金 0.00円	取替前計量値 484
記・他料金 23,647.58円	力率 90%	記・他料金 23,647.58円	力率 90%
金・燃料費調整額 3,087.45円		金・燃料費調整額 3,087.45円	
内・口座振替額 -52.50円		内・口座振替額 -52.50円	

削減金額 >>> 月 / 13,227円
年 / 158,772円

各電力会社の基本料金単価表 ※税抜

北海道電力	¥1,170	関西電力	¥ 980
東北電力	¥1,150	中国電力	¥1,010
北陸電力	¥1,060	四国電力	¥1,015
東京電力	¥1,020	九州電力	¥ 920
中部電力	¥1,040	沖縄電力	¥1,210

※1kWあたり

ジェルコントロールシステムが安心の理由

-  財団法人 電気安全環境研究所 (JET) で、電気用品安全法の基準を満たした適合性検査に合格し、PSEマークを取得しております。
- 生産物賠償責任保険 (PL保険) に加入しています。補償金の上限額は1億円です。

導入までのステップ



● 導入前の調査にご協力ください

ブレーカー容量を下げれば基本料金は安くなります。しかし稼働状況以上に下げてしまい、結果ジェルコントロールシステム導入後にブレーカーが頻りに落ちてしまうようでは問題です。一方、まだまだ下げられるのに必要以上のブレーカー容量では、削減額が減ってしまいます。以上にならないよう導入前に電気の使用状況を調査することが重要となりますので、調査のご協力をお願いいたします。

ジェルコントロールシステムの導入には、電力会社への申請及び電力会社の確認・検査が必要となります。

契約電力変更については、電気供給約款に基づいて行います。ジェルコントロールシステム導入後、電力会社の確認・検査日の翌日より日割りで基本料金が安くなります。

各業界・各メディアからも注目され、高い信頼性を誇るジェルコントロールシステム

ジェルコントロールシステムは各種メディアに取り上げられ、豊富な導入実績のある信頼性の高いサービスです。

【導入事例】

- ・ マンション共用部
- ・ コンビニエンスストア
- ・ 立体駐車場
- ・ ガソリンスタンド
- ・ 飲食店
- ・ コインランドリー
- ・ クリーニング工場
- ・ パン菓子製造
- ・ 自動車整備工場
- ・ 木材加工業

特に動力機械を使用している事業所には
絶大な効果があります。

累計出荷台数
51,648台